

## [公益5] 大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰

### 5-1 情報通信技術を活用した優れた授業研究の評価と表彰

#### <事業計画>

情報通信技術を活用した教育力の向上を推進するため、文部科学省の後援を受けて全国の大学・短期大学を対象に「ICT利用による教育改善研究発表会」を継続実施する。教育の質的転換に効果的な情報通信技術の活用研究を選考・表彰し、インターネット等による公表を通じて教育改善の研究を啓蒙・普及する。

#### <事業の実施状況>

事業の実施は「ICT利用教育改善発表会運営委員会」を継続設置してICT利用による教育改善研究発表会を開催し、優れた教育方法を選定・評価・表彰した。以下に、委員会の活動状況を報告する。

#### ICT利用教育改善発表会運営委員会

5月9日、28年1月23日に平均7名又は8名が出席して2回開催し、ICT利用による教育改善研究発表会における発表募集要項の作成、1次選考・2次選考の実施、研究論文の査読と論文誌刊行、本協会Webサイトでの公表を行った。

##### (1) 発表者の募集

発表募集要項に大学教育の質的転換を踏まえた取り組みも反映できるよう、能動的学修（アクティブ・ラーニング）への双方向的授業、教室外の事前・事後学修などでのICT利用を明示するとともに、募集のキャッチフレーズとしてタイトルに「学士力の実現に向けたICT利用」を掲げ、教育改革につながる発表となるよう募集を行った。

##### (2) 研究発表の選考

- ① 運営委員会で66件の応募について書類選考を行い、59件の発表を確定したが、後日3件辞退があり最終的な研究発表は56件となった。
- ② 1次選考は、8月9日に東京理科大学で発表者と参加者221名で開催し、選考規程に基づき次のような基準で選考した。
  - \* 教育上の問題解決を図るために、ICTを利用した教育改善の目的・目標が明確に示されていること。
  - \* ICTを利用した教育改善の内容と方法が明確に示されていること。
  - \* 客観的な評価方法により、教育改善の効果が明確に示されていること。その結果、11件を選考した。詳細は、平成27年度事業報告の附属明細書【2-9】を参照されたい。
- ③ 2次選考は、10月3日に実施し、1次選考の発表ビデオと発表論文をもとに授賞基準に沿って実施した結果、以下の通り、奨励賞1件の授賞を決定した。

平成27年度受賞者

★奨励賞（1件）

「仮想患者を用いた教育システムの開発と活用」

北海道医療大学歯学部 越野 寿、豊下 祥史、斎藤 隆史  
昭和大学歯学部 片岡 竜太、宮崎 隆  
岩手医科大学歯学部 城 茂治、三浦 廣行

[授賞理由]

本研究は、増加しつつある有病高齢者に対して安全に歯科治療できるよう、3大学連携で歯科医師会の協力により基礎知識習得と臨床推論能力養成のためのICT教材を開発・導入した取り組みである。eラーニング教材による課題学修やテスト、仮想患者教育システムによるチャット形式の医療面接等を通じて、学生すべてに症例を経験させ理解度向上に貢献している。

(3) 選考結果の表彰

表彰は、11月25日の第14回臨時総会で発表者を招待し、実施した。

(4) 論文誌の発行

2次選考の対象論文について査読を行い、7件の論文を確定した後、11月25日に論文誌「ICT活用教育方法研究」として1,800部を発行して配布した他、機関誌及び本協会のWebサイトで公表した。